

平成17年8月26日
厚生労働省

労災保険及び船員保険における石綿ばく露による肺がん及び中皮腫の認定状況

1 石綿ばく露による肺がん及び中皮腫の認定状況

○平成16年度までに労災認定を受けた労働者が所属していた事業場（483事業場）に係る労災認定状況は肺がん270件、中皮腫473件、あわせて743件。

2 石綿ばく露による肺がん及び中皮腫の業種別認定件数

○平成16年度までに肺がん及び中皮腫の認定がなされた事業場の業種別の件数。

○労災認定件数が最も多い業種は、石綿パッキング、石綿スレート等の石綿製品を製造する窯業又は土石製品製造業であり、次いで建築事業、船舶製造（修理）業の順となっている。

	事業場数	認定件数		
		合計	肺がん	中皮腫
窯業又は土石製品製造業	53 (11.0%)	181件 (24.4%)	80件 (29.5%)	101件 (21.4%)
建築事業	122 (25.3%)	134件 (18.0%)	54件 (19.9%)	80件 (16.9%)
船舶製造業（修理を含む）	59 (12.2%)	108件 (14.5%)	31件 (11.4%)	77件 (16.3%)
全業種計	483	743件	271件	472件

※ 船員保険分を含む

注：個別の事業場リストは省略